

2018年9月19日

各位

会社名 アザース株式会社
(コード番号9276 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役 中川 周平
問合せ先 管理部長 稲葉 修一
T E L 089-989-3916
U R L <http://www.az-earth.com/>

事業計画概要について

【売上高及び損益計画】2019年3月期

(単位：千円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------|---------|-------|-------|-------|----------------|
| 2018年3月期 (実績) | 178,921 | 8,802 | 9,580 | 7,057 | 28.46円 |
| 2019年3月期 (計画) | 207,992 | 7,279 | 8,768 | 6,981 | 27.16円 |

(注) 2018年7月31日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行いました。2018年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

【2019年3月期業績予想の前提条件】

(1) 当社全体の見通し

我が国経済全体は、政府や日銀による経済・金融政策を背景に、企業収益は改善傾向となり、景気は緩やかな回復基調で推移していると思われま。

その中で当社の属する外食産業におきましては、少子高齢化や働き方改革をはじめとした社会構造の変化を背景に業種・業態を超えた顧客・人材確保競争が激化しており、経営環境は楽観視できない状況が続いていると認識しています。

当社においては、基幹店である「麵鮮醤油房周平」を中心とした既存直営店をベースに、国内外から引き合いが増加しているFC店展開を推進していく方針です。

(2) 個別の前提条件

①売上高

今期の主な施策としては、直営事業で「油そば周平」の新規出店、FC事業で海外に2

件の新規出店をする計画です。また前期に新規出店した「中華そば八平」が通年稼働すること及び既存店の安定稼働にも注力します。

これらの結果、売上高は207,992千円（前期比16.2%増）と予想しております。

②売上原価、売上総利益

売上原価については、無駄な支出は厳しく抑制しつつも、徒に原価低減を図るのではなく適正な価格で適切に原材料を仕入れることに努めます。

この結果、売上総利益は134,869千円（前期比17.0%増）と予想しております。

③販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、2018年3月期の実績をベースとして、上場関連費用を考慮し、127,589千円と予想しております。

この結果、営業利益は7,279千円（前期比17.3%減）と予想しております。

④営業外損益、経常利益

営業外損益は、2018年3月期の実績を考慮して見積もっております。

この結果、経常利益は8,768千円（前期比8.4%減）と予想しております。

⑤当期純利益

予想された経常利益に対し、固定資産売却益及び法人税等の発生見込額等を加味した結果、当期純利益は6,981千円（前期比1.0%減）と予想しております。

以上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。